



テーマ

沖縄食文化の象徴、養豚をめぐる課題を食資源循環という視点で捉え直し、持続可能な地域に寄与するには

論点提供者

伊村 嘉美 氏 (琉球大学農学部亜熱帯地域農学科 准教授)

入場  
無料

かつては、多くの家庭で飼育されていた豚は、沖縄の食文化を語る上で切っても切れない存在です。現在でも 20 万頭の豚が農家によって生産されています。しかし近年、県内の養豚を取り巻く経営環境は年々厳しくなり、一部の養豚農家は存続の危機にあるとも言われています。今回の円卓会議では養豚を取り巻く環境の変化を確認しながら、その課題を最新の食資源循環技術と組み合わせることで農家の経営環境の改善と食文化の継承、さらには持続可能な社会づくりにも寄与できるのではないかという議論を様々な立場の方々と話し合います。

2023 年 3 月 29 日 (水) 14:00-16:40 (受付開始 13:30~)

会場

琉球大学全保連ステーション (大学会館) 3 階特別会議室  
(沖縄県中頭郡西原町千原 1) + オンライン配信 (zoom)

対象

どなたでも参加できます

申込方法

参加ご希望の方は、右記の QR コードからお申し込みください。  
※定員 50 名に達し次第、申し込みを締め切ります。



■主催 琉球大学 COI-NEXT フード・トランスフォーメーションが結ぶ環境・観光アイランド実現拠点  
■協力 公益財団法人みらいファンド沖縄 / NPO 法人まちなか研究所わくわく

# 沖縄の養豚と食資源循環に関する地域円卓会議のご案内

**円卓会議とは** 「地域円卓会議」は、地域社会において多様な主体が連携することをめざし、テーマ（課題）を共有し、アイデアとネットワークを持ち寄る対話の場です。企業・行政・地域・学識・メディア等、多様な見地を有するメンバーが一同に会し、提示された課題の解決をめざして議論します。

## テーマ

### 沖縄食文化の象徴、養豚をめぐる課題を 食資源循環という視点で捉え直し、持続可能な地域に寄与するには

<論点提供者>伊村 嘉美 氏（琉球大学農学部亜熱帯地域農学科 准教授）

かつては、多くの家庭で飼育されていた豚は、沖縄の食文化を語る上で切っても切れない存在です。現在でも20万頭の豚が農家によって生産されています。しかし近年、県内の養豚を取り巻く経営環境は年々厳しくなり、一部の養豚農家は存続の危機にあるとも言われています。今回の円卓会議では養豚を取り巻く環境の変化を確認しながら、その課題を最新の食資源循環技術と組み合わせることで農家の経営環境の改善と食文化の継承、さらには持続可能な社会づくりにも寄与できるのではないかという議論を様々な立場の方々と話します。

#### ■タイムテーブル（予定）

- 14:00 オープニング・地域円卓会議について
- 14:10 論点提供
- 14:25 セッションⅠ（兼出席者紹介）
- 15:25 サブセッション  
（3～4人グループで意見交換を行います）
- 15:55 セッションⅡ
- 16:25 ふりかえり・まとめ
- 16:40 円卓会議 終了

#### ■着席者

- ・宮城建太氏（合資会社オキスイ代表）
  - ・平川宗隆氏（獣医師 博士(学術)、ノンフィクション作家）
  - ・照屋亮氏（沖縄県畜産課飼料基盤班 班長）
  - ～他調整中～
- 司会進行：平良斗星  
（公益財団法人みらいファンド沖縄 副理事長）  
記録者：宮道喜一  
（NPO 法人まちなか研究所わくわく 事務局長）

- 開催日時 2023年3月29日（水）14:00-16:40（受付開始13:30～）
- 会場 琉球大学全保連ステーション（大学会館）3階特別会議室（沖縄県中頭郡西原町千原1）  
＋オンライン配信(zoom)
- 対象 本テーマに関心のある方
- 参加費 無料 ●定員 50名

#### 参加申込方法

参加費は無料です。どなたでも、この円卓会議に参加いただくことができます。  
参加ご希望の方は、右記のQRコードからお申し込みください。



e-mail : [office@machiwaku.com](mailto:office@machiwaku.com)

TEL: (098) 861-1469

- 主催 琉球大学 COI-NEXT フード・トランスフォーメーションが結ぶ環境・観光アイランド実現拠点
- 協力 公益財団法人みらいファンド沖縄  
NPO 法人まちなか研究所わくわく